

# 今こそ対話で平和築こう——領土ナショナリズムの扇動をやめ侵略の過去の清算を！

渡辺健樹

## ●野田政権・保守大連立下で進行する軍事大国化路線

この間、野田政権は消費税増税・原発再稼働・オスプレイの配備強行などを推し進め、その本質をあらわにしています。これに対して、反原発一七万人集会や官邸前の再稼働反対行動など反原発のうねり、オスプレイの配備に反対する沖縄・岩国をはじめとする闘いのうねりが野田政権を追い詰めてつづります。

他方、これらの動きと共になし崩しの軍事大国化路線が顕著になっていく事にも警鐘を鳴らしていくことが必要です。この間、集団的自衛権行使容認の動き（首相直属機関の国家戦略会議フロンティア部会）、武器輸出三原則緩和、原子力基本法改正で「わが国の安全保障に資する」を追明記、「独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）法」改正で「平和目的に限る」規定を削除、憲法調査会をめぐる改憲動向の強まり——などが進行しています。

## ●日韓軍事協定・日米韓軍事同盟反対！今こそ対話で平和築こう

そして、日本と朝鮮半島の間では、ピョンヤン宣言から一〇年もの歳月が経過したにもかかわらず日朝間の対話もなく、逆に日韓軍事情報包括保護協定（GSO M I A）や自衛隊・韓国軍間の物品や役務の相互提供協定（A C S A）締結の動き、済州島沖での米韓合同軍事演習への自衛隊の本格的参加など、日米韓軍事同盟強化の動きが加速しています。

これらは尖閣諸島問題を突出させた対中国、そして北朝鮮バッシングなどの排外主義・ナショナリズムの扇動とセットで進められています。朝鮮学校の「高校無償化」適用も除外されたままです。ようやく先日、朝鮮側の提案による日本人遺骨の返還問題をめぐり日朝赤十字会談が行われ、四年ぶりの日朝政府間予備会談が八月二九〜三〇日に開かれましたが、これらの動きを注視していく必要があります。

あらためて私たちは、（日本政府は軍事大国化路線をやめろ！日韓軍事協定より過去の清算を、日朝対話で平和の実現を！日米韓軍事同盟反対！）の声を挙げていく必要があると思います。

## ●領土ナショナリズムの扇動をやめ侵略の過去を清算せよ

ところで、日韓軍事協定を進めようとして韓国世論の厳しい批判にさらされた李明博大統領は、8・15を前に竹島（独島）訪問や「天皇訪韓で謝罪」発言のパフォーマンスを行い、これに対して日本では、尖閣諸島（釣魚台）への香港活動家の上陸と合わせ、野田首相の発言や「国会決議」などで竹島（独島）も尖閣諸島（釣魚台）も「日本の固有の領土」と押し出しています。しかし歴史を厳正に見れば尖閣諸島は日清戦争、竹島も日露戦争と朝鮮の外交権を奪った第二次日韓協約の強要という一連の朝鮮・中国侵略過程で日本の版図に組み込んだものであることは明らかです。私たちは日本政府による「領土ナショナリズム」の扇動に強く反対し、侵略の歴史を直視して過去の清算に踏み出すことを求めます。こうした状況の中で日韓関係はしばらく「停滞」するでしょうが、（年末の韓国大統領選の結果にもよりますが）米軍再編下の日米韓軍事同盟強化の方向はこれを重視する政権が続く限り変わらないでしょう。筆者は八月半ばに韓国運動圏の招きで毎年開かれていた8・15自主平和統一大会と関連行事に参加してきましたが、日韓軍事協定阻止が前面に掲げられ、李明博大統領の突然の独島訪問に対しては「人気取りの政治パフォーマンス」として嘲笑の対象となっていました。

こうした状況を踏まえ、左記の集会を予定しています。ぜひ参加・賛同をお願いします。（わたなべ・けんじゅ／日韓民衆連帯全国ネットワーク）

### 日朝ピョンヤン宣言10周年

軍事大国化やめろ！ 日朝対話と過去の清算を 9・15集会

【講演】半田 滋さん／西野瑠美子さん

【映像】2012 8・15ソウル自主統一大会―韓国民衆の統一への闘い

【日時】9月15日（土）午後6時開場【場所】文京区民センター「資料代」八〇〇円

【呼びかけ】2012 9・15ピョンヤン宣言10周年集会実行委員会

【連絡先】日韓民衆連帯全国ネットワーク（03-5684-0194）